

業界レポート
繊維製造業
(製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業)



2026年2月

株式会社CCイノベーション コンサルティング部 ソリューショングループ

01. レポートサマリー

02. 基礎知識

03. 業界の動向

04. 今後の焦点

05. CCIのソリューション

01. レポートサマリー

基礎知識

- 繊維製造業界は、天然繊維・化学繊維を原料に、紡糸・紡績・製糸・染色・縫製など多段階の加工を行う産業。
- 製造から流通まで工程ごとに専門分業が発達しており、川上（糸・原料）、川中（生地加工）、川下（縫製・製品）のように流れに例えて分類されるのが特徴である。

業界の動向

- 繊維業界では、衣料用以外の高機能素材需要が拡大し、炭素繊維や産業資材など非衣料分野への多角化が進み製造品出荷額が増加している。
- 一方、国内生産は、化学繊維や紡績糸はアパレル需要の低迷に加え、国内人件費やエネルギーコスト上昇を背景に海外依存へシフトし減少傾向にある。
- ただし、日本企業の海外拠点は中国でのコスト上昇や競争激化により減少し、ASEAN移転後も人材や調達面の課題から拠点再編が進んでいる。

今後の焦点

- 海外生産によるコスト削減が限界を迎える中、スマートテキスタイルの普及により今後は独自性や機能性といった付加価値で競争が進む。他業界との連携を通じ、新たな価値創造が重要となる。

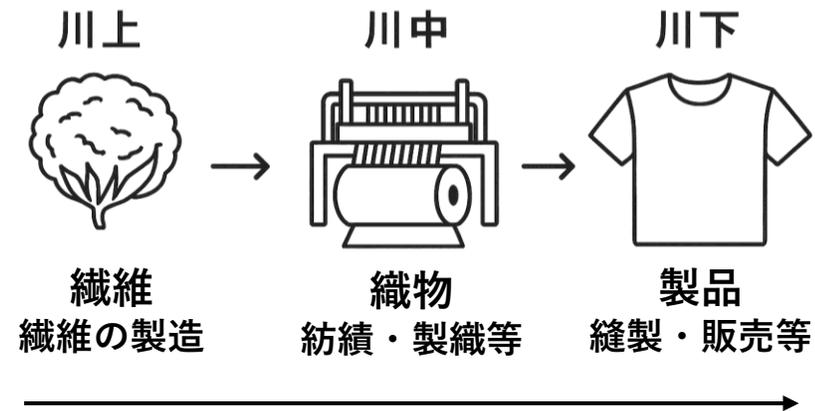
02.基礎知識

繊維業界とは

- 繊維業界とは、主に紡糸、紡績、製糸、縫製、染色などで天然繊維や化学繊維を扱う関連産業のことを言う。
- 製造・流通段階で分業体制が取られており、多業種に分かれている。（後述の商流図参照）

川の流れに例えて、**川上**、**川中**、**川下**と区分され表現することがある。

繊維製造業界における川上・川下構造



- 製造・流通の各段階をそれぞれの企業が担当するという繊維業界の特殊な構造が、繊維製品の生産・取引に大きな影響を与えている。

02.基礎知識

繊維の種類

化学繊維

再生繊維

半合成繊維

合成繊維

無機繊維

レーヨン

アセテート

ナイロン

ポリエステル

アクリル

ガラス繊維

炭素繊維

金属繊維

天然繊維

植物繊維

動物繊維

鉱物繊維

綿

麻

絹

羊毛

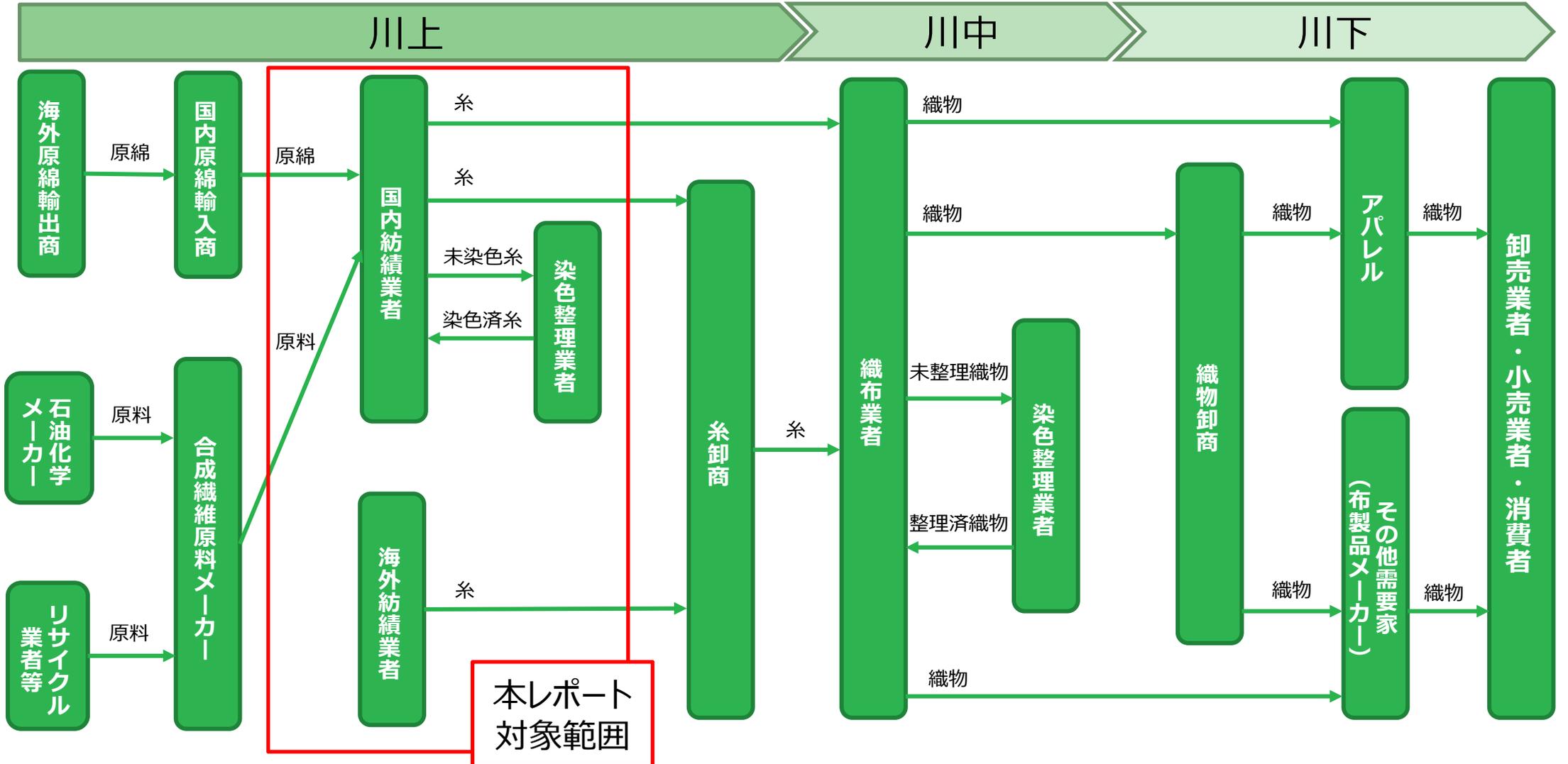
ダウン

フェザー

石綿

02.基礎知識

商流図



03.業界の動向

繊維製造業の製造品出荷額

- 繊維製造業の製造品出荷額が2019年以降増加した背景には、衣料用以外の高機能素材需要の拡大がある。繊維川上産業は炭素繊維や産業資材向けなど非衣料分野で多角化が進み、成長分野が出荷額を押し上げている。
- 愛知県は尾州・知多・三河といった全国有数の繊維産地を持ち、毛織物・綿織物・産業資材など多様な繊維関連産業が集積しているため、製造品出荷額が突出している。

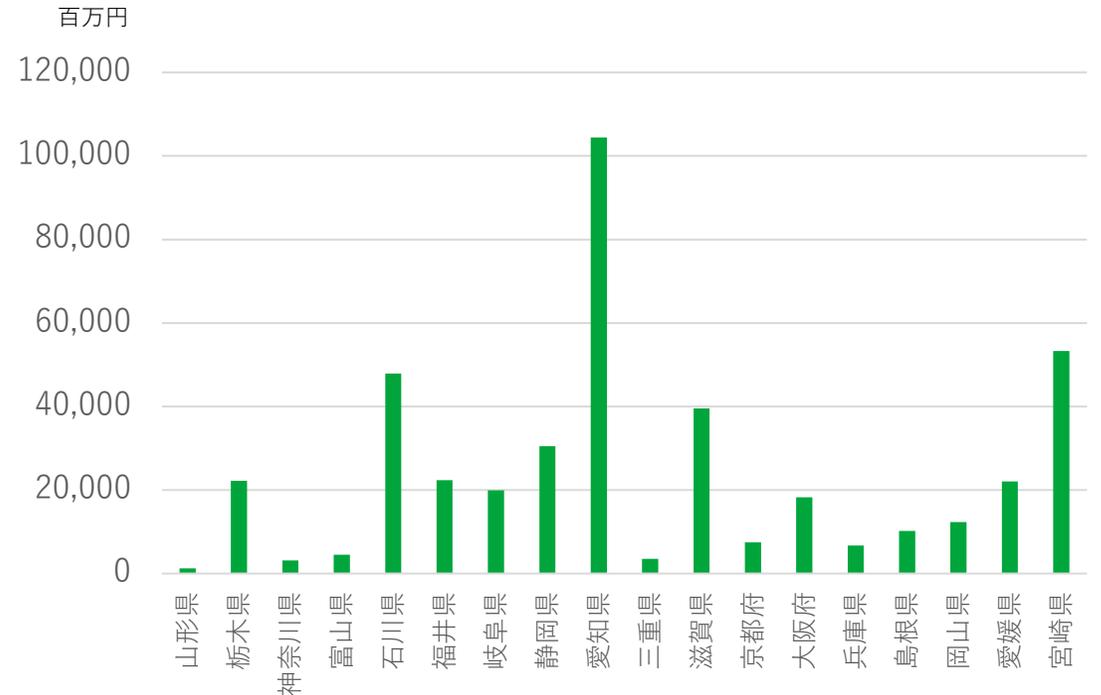
製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業

製造品出荷額と事業所数の推移



※従業員30人以上の事業所が対象

主な都道府県の製造品出荷額

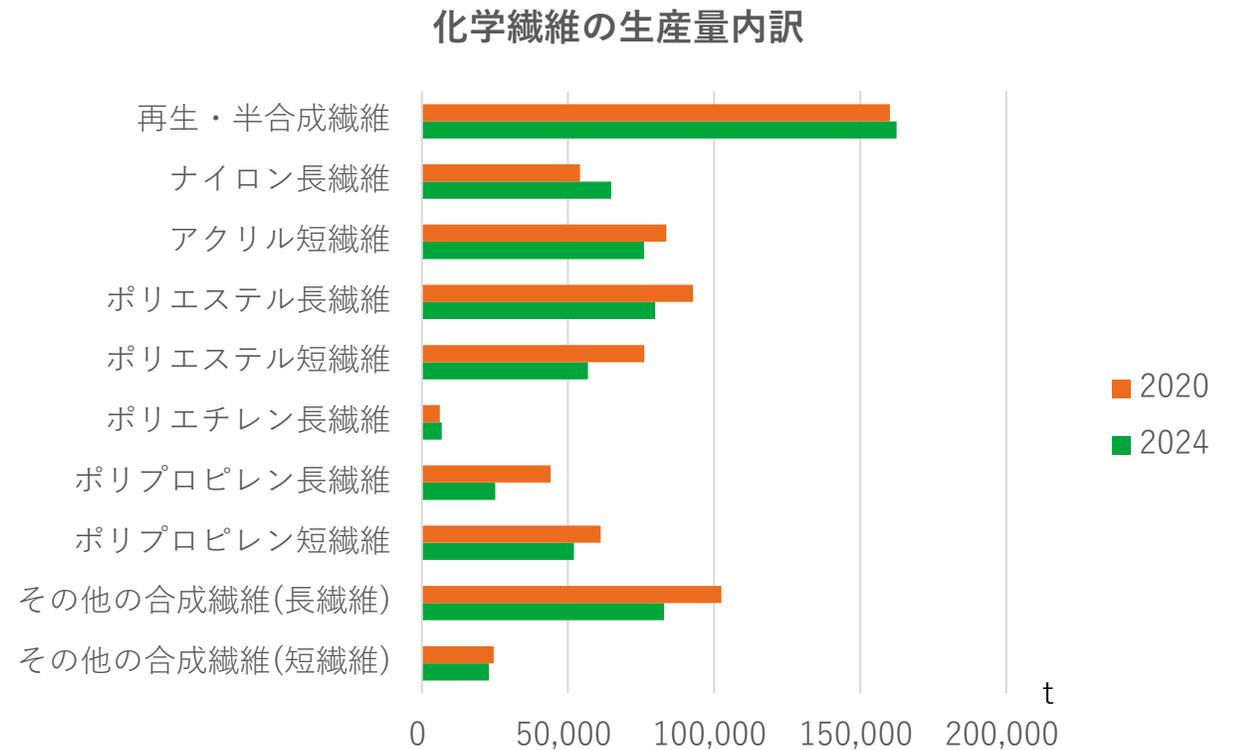


〔出所：経済産業省「工業統計/経済構造実態調査」より当社作成〕

03.業界の動向

化学繊維の生産状況

- 化学繊維の生産量は、アパレル需要の鈍化に加え、国内人件費やエネルギーコストの上昇による海外生産へのシフトが進み、減少傾向にある。
- 一方、環境配慮型素材への関心の高まりを背景に生分解性・再生可能資源を用いた素材が再評価されている。

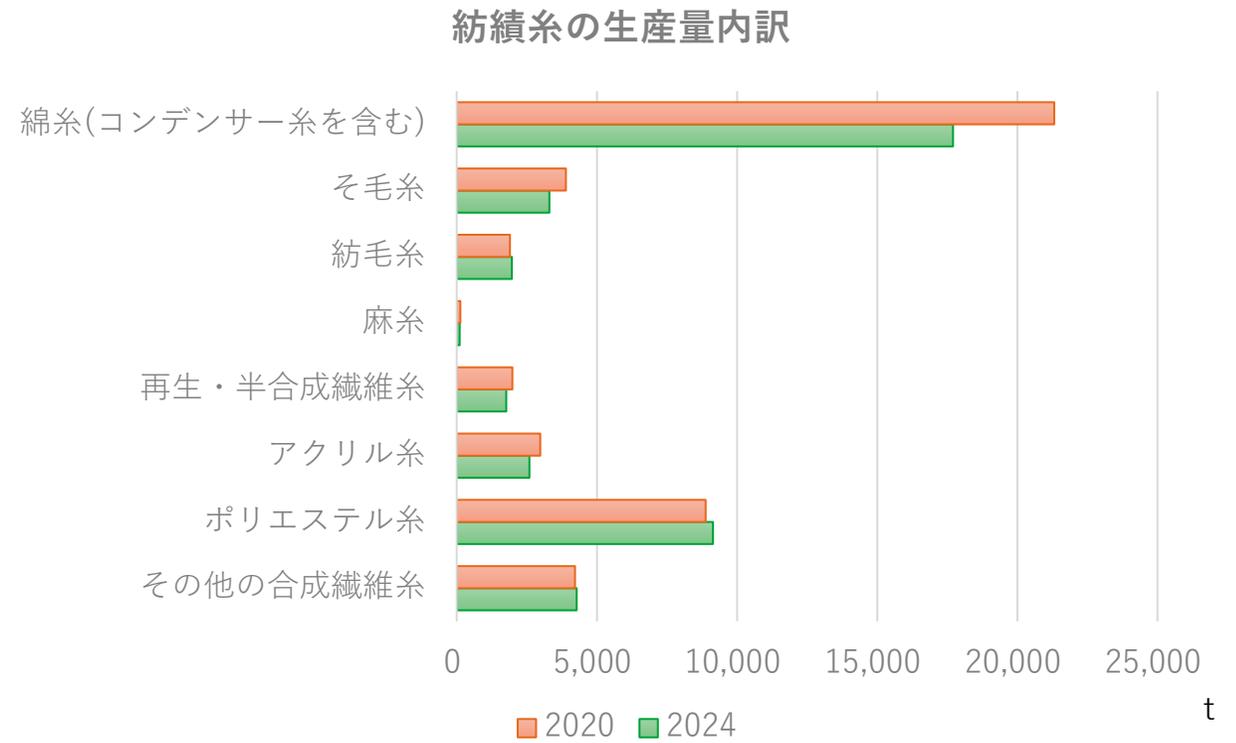
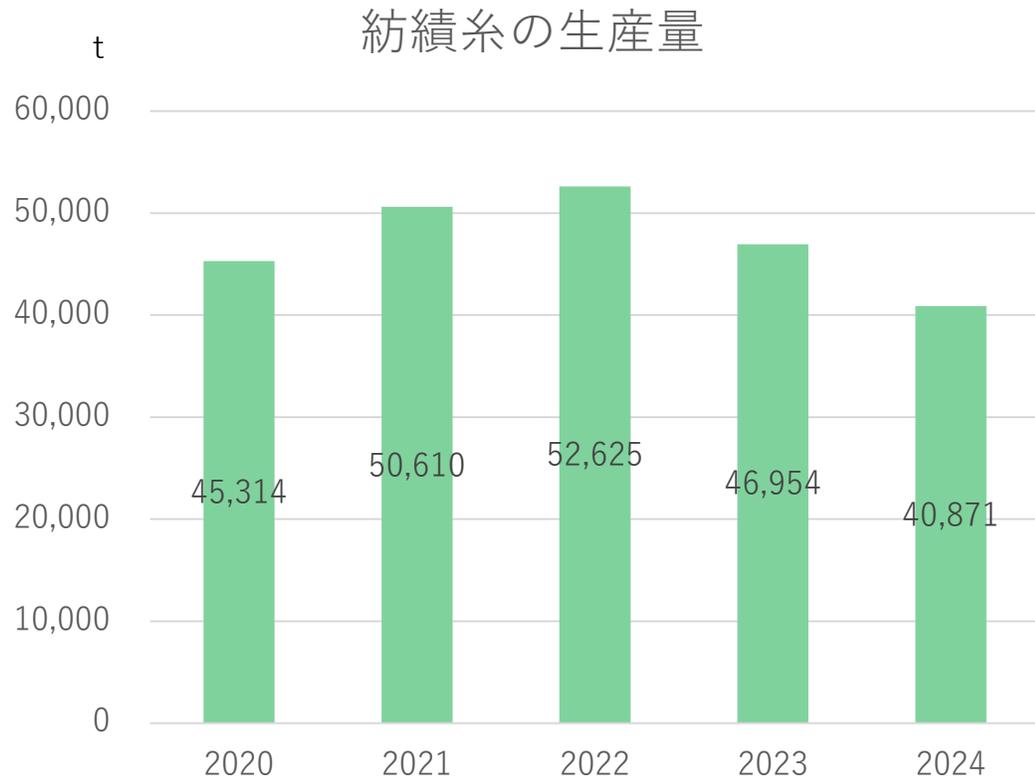


〔出所：経済産業省生産動態統計/化学繊維月報より当社作成〕

03.業界の動向

紡績糸の生産状況

- 紡績糸の生産量も化学繊維と同様に、アパレル需要の鈍化に加え、国内人件費やエネルギーコストの上昇による海外生産へのシフトが進み、減少傾向にある。
- また、綿花価格の高騰や安価な海外製品との競争により、綿糸国内生産の減少が顕著になっている。

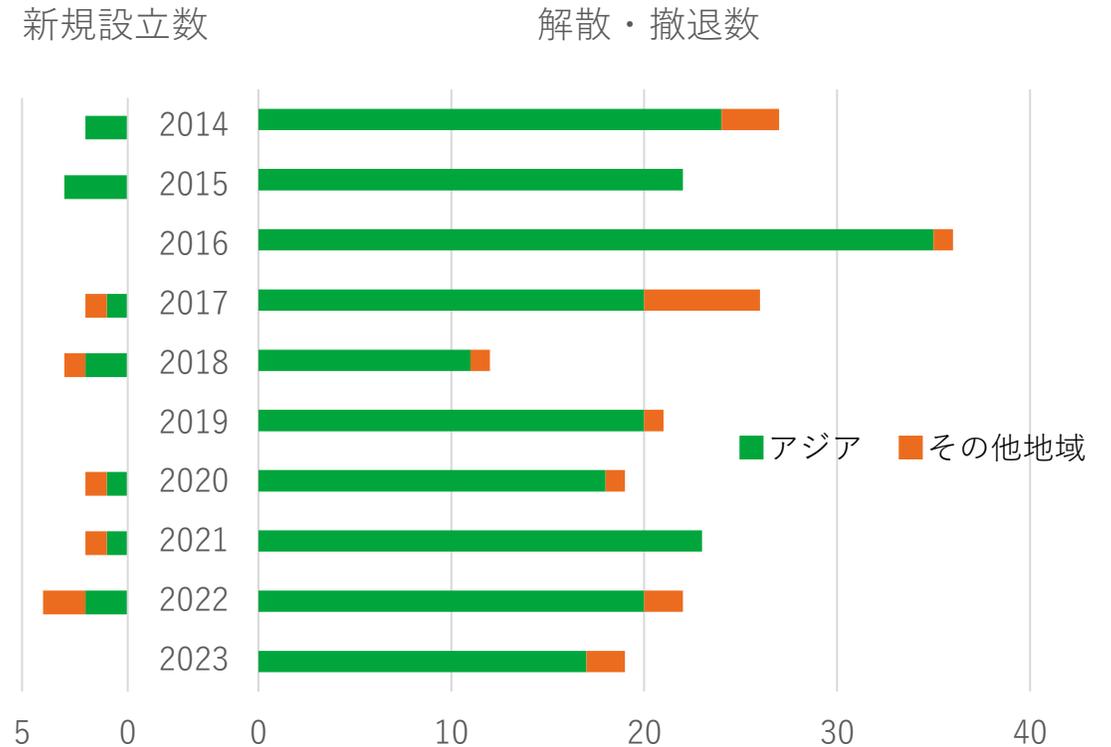
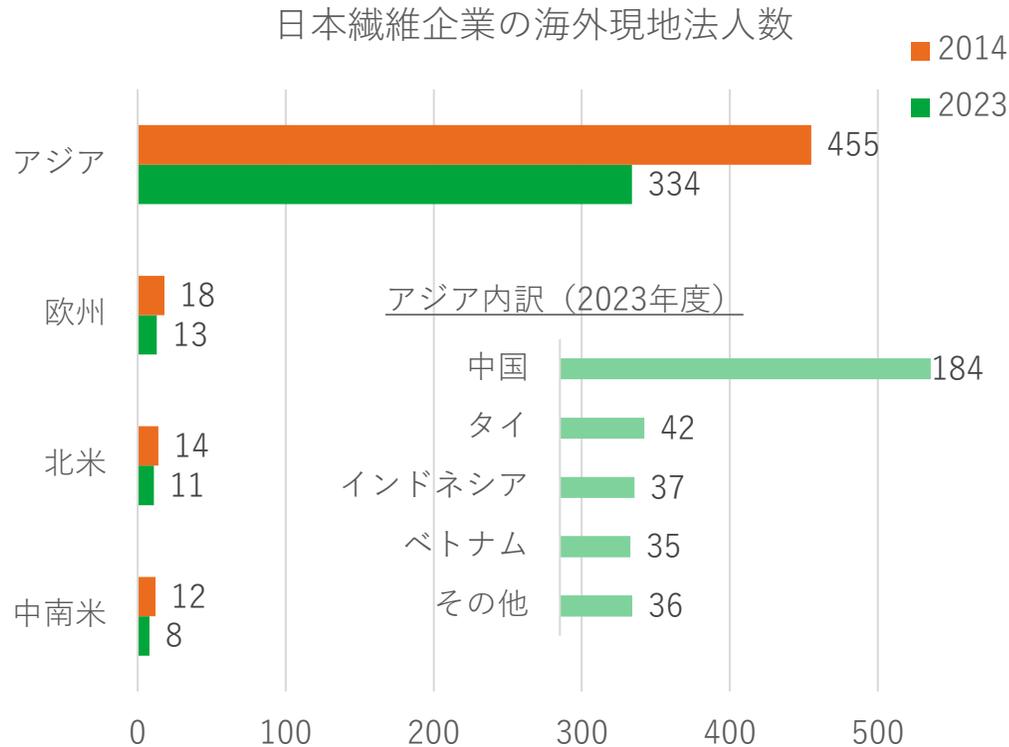


〔出所：経済産業省生産動態統計/紡績糸月報より当社作成〕

03. 業界の動向

日本繊維企業の海外展開

- 日本繊維企業の海外現地法人数が減少した要因は、最大の生産拠点だった中国での人件費上昇や人材確保難、現地企業との競争激化による撤退・縮小が進んだことにある。
- さらに、ASEAN移転後も調達面や人材の質、韓国・中国企業との競争など課題が多く、生産性向上の必要性から拠点再編が進んだことも影響している。



〔出所：経済産業省「海外事業活動基本調査」より当社作成〕

03.業界の動向

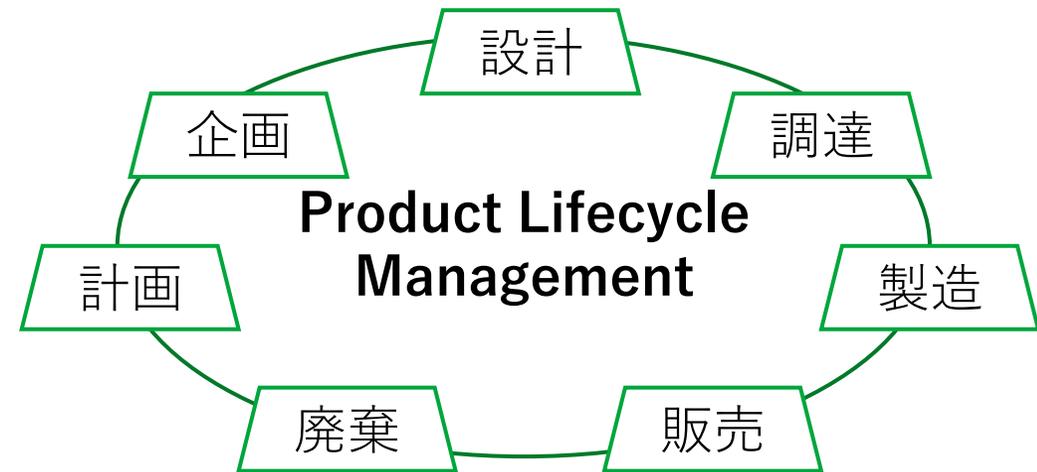
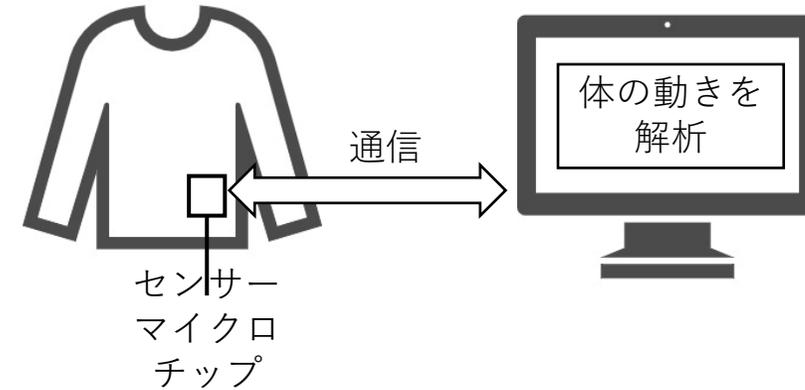
業界トレンド

スマートテキスタイルの拡大

繊維を基材とした衣服に生体情報などのセンシング機能を付与し、生活者の心拍や体の動きなどを把握することが可能。健康管理や熱中症対策等、様々な分野で活用が進められている。

製品ライフサイクル管理

開発効率化やリードタイム短縮、品質向上を実現するため、製品ライフサイクル管理（PLM：Product Lifecycle Management）により、企画・設計から素材選定、試作、生産、販売までの情報を一元管理する取り組みをすすめている。



〔出所：経済産業省「2024年経済構造実態調査」より当社作成〕

04. 今後の焦点

異業種とのコラボ・高付加価値品

- 繊維製造業の現地法人解散・撤退が進んでおり、海外生産によるコスト削減は限界にきている。
- スマートテキスタイルが拡大しており、今後はさらに、付加価値（独自性、利便性、機能性）での競争となる。
- 他業界とのコラボレーションを活発化させ、新たな価値を創造していくことが求められるのではないか。



コンサルティングメニュー

経営戦略

- 経営理念、ビジョン策定
- 経営計画の策定
- 個別施策の立案

デジタルマーケティング

- Web広告導入、運用支援
- SEO改善支援
- メールマーケティング支援

業務効率化

- BPR企画・立案
- クラウド会計を活用した事務効率化
- 各種業務のマニュアル化

コストマネジメント

- 原価管理体制の構築
- 物件費削減に関する助言
- アウトソーシングの受託

人事制度・人材育成

- 人事評価制度の策定
- 賃金制度の設計
- 階層別・専門別研修の実施

海外展開

- 海外販路の開拓
- 海外拠点の設立に関する支援
- 貿易手続に関する助言

人材紹介

- 最適な人材マッチング
- 独自のネットワーク
- 人材定着サポート

ICT

- システム導入・更改のサポート
- 独自アプリによる生産性向上
- 社内コミュニケーションの活性化

M & A・事業承継

- 企業の売却・買収のコーディネート
- 企業価値算定に関する助言
- 経営の承継に向けた社内体制整備



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- CCIグループ各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、确实性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。



当社のコンサルティングに
詳しい詳細はこちら

お問合せ



専門コンサルタントが
ご相談を承ります。
お気軽にご連絡ください！

LinkedIn



コンサルティング事例やセミナー情報を発信中
ぜひフォローをよろしくお願いします！

Facebook

